

A f f e t t i m v s i c a l i



Kantaten für Palm- und Ostersonntag

—枝の主日と復活祭のカンターテー

J. S. Bach

«Himmelskönig sei willkommen» BWV182

«Christ lag in Todesbanden» BWV4

G. Böhm

H. I. F. von Bieber

etc.

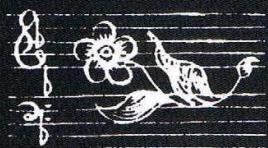
2015年 4月 10日 [金] 19:00 開演 [18:30 開場]

日本福音ルーテル東京教会 [新宿区大久保]

全席自由 前売り 3500 円 当日 4000 円

予約・お問合せ : affetti.mvsicali@hotmail.com [事務局]

チケット取り扱い : 03-3952-5515 [東京古典楽器センター]



AFFETTI MVSICALI

Kantaten für Palm- und Ostersonntag

枝の主日と復活祭のカンタータ

「なんという深い鐘のうなり、なんという冴えた歌の音色、
お前たち艶らかな鐘の音は、もう復活祭の序開きの時刻を告げるのか…

天上の歌ごえよ、なんのために強くまた優しく、この塵の中にいるおれを求めてくるのか…
この歌の調べは子供の時から聞きなれているので、今もまたおれを生の中へ呼びもどしてしまう…

思い出は今やおれを少年の心にかえし、最後の厳肅な一步からおれを引きもどしてしまった。

おお、なおも響きわたり、甘美な天の歌声よ…」

[ゲーテ『ファウスト』第一部「夜」]
相良守峯訳（岩波文庫）

真理の探究に疲れ果てた末、自らの手で命を絶とうとしたまさにその瞬間にファウストを
生の世界へと引きもどしたのは復活祭の夜明けを告げる教会の鐘の音でした。
復活節という生命の再生の季節には必ず思い出す美しい描写です。

私たちのアンサンブル Affetti mvsicali の第二回演奏会は、
キリストの受難と復活をテーマとするドイツ・バロックの作品を聴いて頂きます。
『天の王よ、汝を迎えまつらん』BWV182 と『キリストは死の縄に縛められ』BWV4 という
若きバッハの受難と復活のカンタータ 2 曲に
バッハより一世代前の 3 人の作曲家たちの作品を配しました。

北ドイツのリューネブルクで活躍した G. Böhm (1661-1733) による、
復活祭のコラール "Christ lag in Todesbanden" に基づく力強いコラール・ファンタジー

ザルツブルクで活躍した H. J. F. von Bibra (1664-1704) の代表作『ロザリオのソナタ』より
最も極端なスコラダトゥーラ（変則チューニング）が求められる「復活 Auferstehung」

バッハのライプツィヒでの前任者 J. Kuhnau (1660-1722) による
受難モテット「わが魂は悲しみのあまり Tristis est anima mea」

弦楽器、オルガン、合唱のピッチは現在より約半音高い $a'=465$ のコーラートーンで
リコーダーは今日より約全音低いヴェルサイユ・ピッチで演奏し、
歌詞の日本語訳字幕を投影いたします。

300 年前に生きたドイツの人々のキリスト復活と春を寿ぐ想いを
皆様とともに味わうことができたらと存じます。

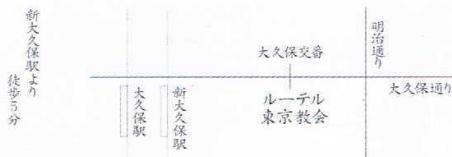
藤原一弘

Affetti mvsicali

Magister Capellae	藤原一弘
Cantus 神山直子	衣笠千恵子 富山みづえ
Altus 奥村泰憲	山下幸
Tenor 並木隆浩	吉田龍之助
Bassus 浜田広志	山形朗明
Orgel 大村千秋	

Guest Musicians

Altus 上杉清仁
Bassus 渡辺祐介
Recorder 宇治川朝政
Violin 廣海史帆 本郷幸子
Viola 小林瑞葉 中島由布良
Cello 懸田貴嗣
Violone 永田由貴



日本福音ルーテル東京教会
東京都新宿区大久保 1-14-14
tel 03-3209-5702
web <http://www.jclc-tokyo.org>

Affetti mvsicali on the Web: <https://affettimvsicali.wordpress.com>